

## 新日本グローブ空手道連盟 グローブ空手ルール試合規約

### 〈グローブ空手〉 〈壮年部ワンマッチ〉

A-1 軽量級	B-1 中量級	C-1 重量級
62kg以下級	68kg以下級	73kg～83kg以下級

### 〈ジュニアグローブ空手〉

A-1Jr	B-1Jr	C-1Jr	D-1Jr	E-1Jr	F-1Jr
小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生

### 〈中学生ワンマッチ〉

中学生A-1(男子)	中学生B-1(男子)	中学生A-1(女子)	中学生A-1(女子)
55kg以下級	65kg以下級	50kg以下級	60kg以下級

◆各階級、トーナメント戦の参加人数が少数の時、ワンマッチ試合になる場合があります。

#### 試合形式

#### 〈グローブ空手〉

本戦2分、延長2分。 決勝戦3分、延長2分。

(全て再延長は無しとする。体重が軽い方が勝者とする。)

#### 〈ジュニアグローブ空手〉 〈中学生ワンマッチ〉 〈壮年部ワンマッチ〉

本戦1分30秒、延長1分。 決勝戦1分30秒、延長1分。

(全て再延長は無しとする。体重が軽い方が勝者とする。)

**防具**(試合用の防具は主催者側が用意する新日本グローブ空手道連盟認定の防具以外の装着、使用を不可とする)

#### 〈グローブ空手〉

グローブ A-1・B-1・C-1 全て 14oz グローブ

スネパッド、ひざパット、マウスピース、金カップ

道着の帯は、試合中解けないようテーピングなどで必ずとめること

#### 〈ジュニアグローブ空手 中学生ワンマッチ〉

A-1Jr・B-1Jr・C-1Jr・D-1Jr・E-1Jr・F-1Jr 日本グローブ空手道連盟認定グローブ、スネパッド、ひざ

パット、金カップ、ヘッドギアー 道着の帯は、試合中解けないようテーピングなどで必ずとめること

(マウスピースの着用は自由とする。ボディープロテクターは女子選手のみ着用を自由とする。)

(また、着用する場合は主催者側が用意したボディープロテクターに限る。)

#### 出場資格

#### 〈グローブ空手〉 満 16 歳~満 45 歳までの男性。キックボクシング又は打撃格闘技のプロ(プロ実践が

1戦でもある選手)は出場できない。

#### 〈ジュニアグローブ空手〉 小学校1年生から6年生の男女。

#### 〈中学生ワンマッチ〉 中学校1年生から3年生の男女。

#### 〈壮年部ワンマッチ〉 満 46 歳~満 60 歳までの男性。キックボクシング又は打撃格闘技のプロ(プロ実

践が1戦でもある選手)は出場できない。

#### 勝敗(KO・TKO・技有り)

(1)KO(一本勝ち)5秒以上のダウンをした時。

(2)本戦で2度のダウンがあった時。延長戦も同じ。

(3)相手選手のセコンドよりタオル投入があった時。

(4)相手選手にダメージがあり、試合続行不可能になった時。

(5)両選手の実力差が歴然とある時は、試合途中においても勝敗の判定を下すことがある。

(6)相手が明らかに戦意喪失した時、又は審判がそれと判断した時。

(7)技有り・パンチ・キック等で、一時的に相手に的確にダメージを与えた時、 倒れなくてもダウン(技有り)とする。

(8)選手が負傷し大会医師が試合続行不可能と判断した時は、試合を続行できる選手のTKO 勝ちとする。

(9)故意に反則をした場合も、反則負けとする。

(10)判定の場合、副審の旗が2本以上上がった側が勝ちとする。

#### 反則技

(1)頭突き

(2)金的攻撃

(3)顔面への肘・膝

(4)目突き

(5)首絞め

(6)投げ技

(7)関節技

(8)噛みつき

(9)倒れた相手への攻撃

(10)服、道着をつかんでの攻撃

(11)背後からの攻撃

(12)やめの合図後の攻撃

(13)手足をつかむ行為

(14)相手の体を手でつかんで(首相撲)の攻撃

(15)相手の足を故意に踏みつける行為

(16)一方的に攻撃を受け故意に場外に逃げたり、攻撃意思のない態度の場合(場外カード3回で失格)。

※ジュニアグローブ空手、中学生ワンマッチは「蹴り」以外での顔面への攻撃は全て反則。

#### 失格及びルール

(1)レフリーの判断により、悪質な試合態度と判断された時。

(2)試合時間に遅れた時。出場不可能な時。

(3)測定体重がオーバーしている時。

(4)イエローカードを3回受けた時。(反則は口頭注意2回でイエローカード減点1)

(5)故意に反則した時。

(6)マウスピースを付けずに出場したり、ワセリン・オイル・油脂類及び薬品類を塗布した時。

(7)セコンドの罵声、悪質な態度により、選手が失格になることがある。

(8)コンタクトレンズをしての試合出場は認めない。

※上記に明記されていない不測の事態が生じた時は、大会審判長・レフェリー・審判による協議の上、最終判断を下す。